

こんばんお、みんな大好き上下予測神だお！
早速みんなに質問があるお。

ライントレードって聞いたことある??

多分 80%以上の方は聞いたことがあると思うお、なにせライントレードは初心者からプロまで使う【最も基本的で最も重要なトレード方法】だからだお！

相場の動きは全て人間によって動かされているお、だから相場を理解するためには【投資家を理解する事】が一番大事なポイントだお。

その上で一番基本的で一番重要視されるライントレードについて理解しておかないと、そりゃ勝てないお笑

実際我が予測する時はまず初めに【意識されているラインを理解する事】から始めるお。
でもね、みんなはラインを理解できていないんだお。というよりは理解したつもりで使っているんだお。

だってラインは簡単に引けるから。

これが今回のミソ、ライントレードは実は簡単だお。簡単だからこそ深く理解してラインを引かないと勝てないんだお。

事実、我と神官で同じチャートを見てラインを引いたところ、二人とも違うところに引いていたお。

そしてその相場を観察すると見事に我の引いたラインで反発・ブレイクが起きたお。

神官のラインでは一度は意識されていたが反発・ブレイクが起きるほどの意識はされていなかったお。

ここで何が言いたいのかというと、ライントレードを引くこと自体は難しくはないが、どこに引くか理解していないと使えないという事だお。

さらにラインの引き方さえ分かれば「将来どこからどこまで相場が動くか」までわかってしまうお！

コメントで「数値が的確」といわれる我が配信は、ここまで理解しているからこそ数値を絞って配信できるんだお。

そんなわけで今回のノートでは【勝つための本当のライントレード】について解説しようと思うお。

1. ラインとは

まずこれだよね、そもそもラインってなんなのか。

ラインは主に2種類に分類できるお。

1. トレンドライン

2. 水平ライン

3. チャネルライン

一つずつ解説していくお。

1. トレンドライン

トレンドラインとはその名の通りトレンドに従って斜めに引くラインのことだお。



こんな感じだお。

トレンドの始まりから1つ目の反発ポイントの安値に斜めのラインを引くことでその線を意識して反発しているのがわかるお。

これが上昇トレンドラインだお。このラインより上にある間は上昇トレンドが続くだろうし、このラインを割り込めば上昇トレンドの終わりの可能性があるお。



反対にこちらは下降トレンドラインだお。

トレンドの始まりから一つ目の高値にラインを引くことで下降トレンドの意識されるポイントが分かるようになるお！

矢印のラインを割ったポイントで下降トレンドの終わりが来ていることから、**ラインを抜けると相場の方向性が変わる**ことが見て取れるお。

※トレンドラインを引く時の注意点

この画像を見ると簡単に引けそうに思えるがこんなにきれいな相場ばかりではないお、トレンドではあるがラインが引けない相場ももちろん存在するお。

そういった相場の時は「**無理にラインを引こうとしない**」事が大切だお。

無理に引くと意識されていない誤ったエントリーポイントを見つけてしまうことに繋がるので、引けない時は無理に引かない事、引けそうなときに引くことを強くするお。

もう一つの注意点はトレンドラインを都度更新していくことだお。

トレンドラインは意識されることが多いが完べきではないお、だから価格が更新されるたびに新しく引き直すことでよりリアルタイムで正確に意識されるポイントがわかるお！

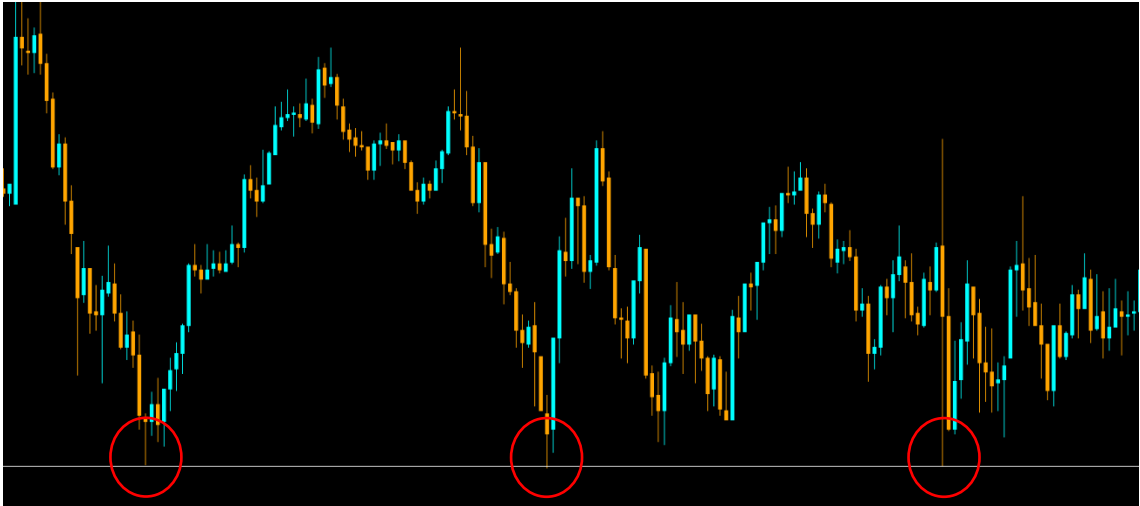
この条件を意識してトレンドラインを引こう！

実践編ではさらにひと手間加えたトレンドラインの引き方も教えるお！

2. 水平ライン

水平ラインは相場に対して水平に引くラインのことだお！

一般的には直近の高値と安値が2〜3個水平に重なるポイントに線を引くお。



この画像の下のようなラインのように複数の安値が重なるポイントに引く線だお。



逆に複数の高値に引くパターンもあるお！

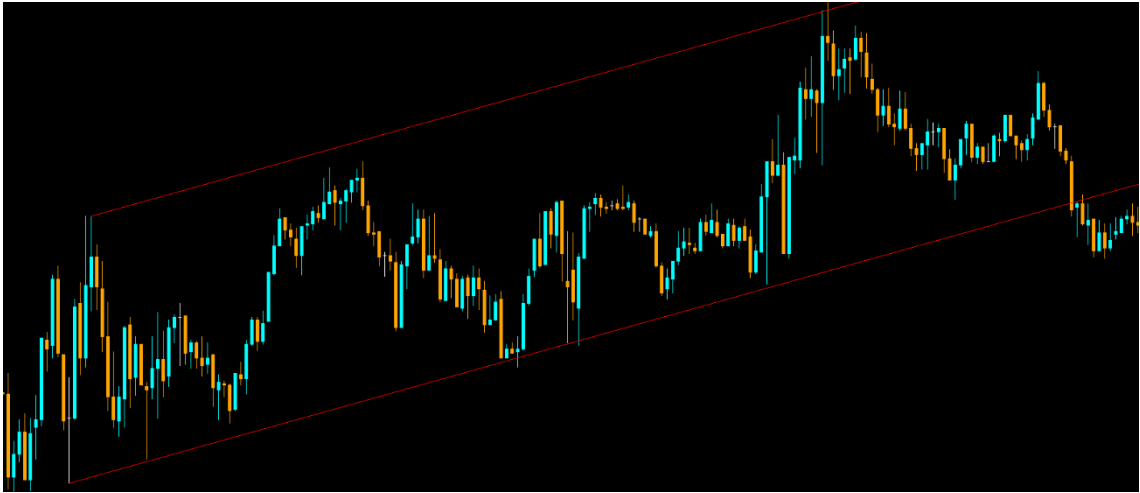
複数の安値に合わせて引くものはサポートライン、複数の高値に引くものはレジスタンスラインと呼ぶお！

このように水平のラインを引くことで相場のどの数値を意識されているのかがわかるお！

これも実践編でワンランク上の引き方を教えるから、ここでの説明はこんな感じだお！

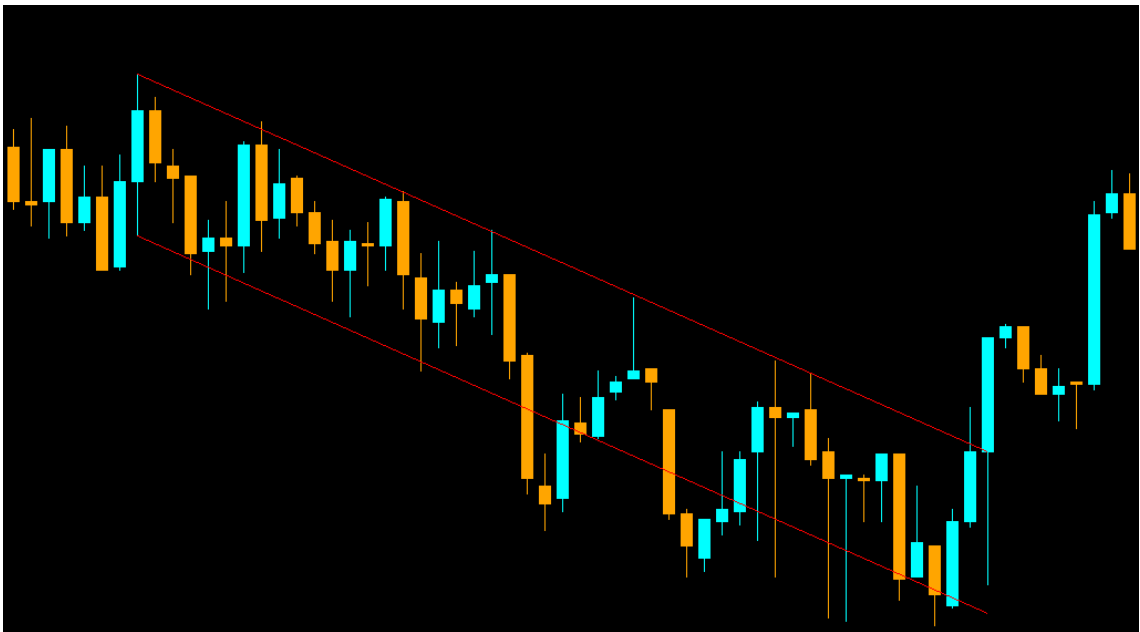
3. チャネルライン

チャネルラインとはトレンド相場を挟む形で引くラインのことだお。



写真のように上昇しているものを**チャネルアップ**と呼ぶお！

チャネルアップの時は上昇トレンドの安値に合わせてラインを引くお。



反対に下降したものを**チャネルダウン**と呼ぶお。

チャネルダウンの時は下降トレンドの高値に合わせてラインを引くお。

二つの画像を見てもらうとわかると思うけど、安値に合わせてチャネルアップがそれぞれの高値にも反応し、高値に合わせてチャネルダウンが安値にも反応しているお！

チャネルを使うとトレンドの上下での反発を抑えられるのがメリットだお！

チャネルラインの特徴

チャネルラインの特徴は3つの視点から相場を判断できるという事だお。

1. チャネルの長さ

2. チャネルの角度

3. チャネルの幅

1. チャネルの長さ

チャネルは長ければ長いほど反発が強く、ラインをブレイクした後の反動がでかいお！

2. チャネルの角度

チャネルの角度が急になっているものほどトレンドの勢いが強く、緩やかだと弱い。そして、角度が急なものほど短いトレンドのケースが多い。

3. チャネルの幅

チャネルの幅が大きいものほどトレンドが強く、そして長く続くお。
幅の狭いトレンドも長く続くときはあるが、トレンド自体は弱いお。

チャネルラインの特徴は主にこんな感じだお、この三点を理解しながら使うことでより威力を発揮していくから覚えておくように。

では実際に我がどのようにこの三つを用いてトレードしているか解説していくお。

その前に一つ

前回我がロジック提供した時に質問があったら聞いてと何度も伝えていたが

質問する人が少なすぎる。お主らあれ一回読んですべて理解できたの？

実際に使ってみてここどうですか？とか質問しなくてもいいの？

ロジックのもらう条件も満たしていないけど、もらったからそれでいいや。と思っている人多すぎる。そこは大人なのだからちゃんとしようよ。

せっかく我や神官がみんなの為に書いた時間も無駄になるし、今回も同じなら今後はキャンペーンをやめようと思っています。

これ読んだ人は必ず感想・意見・質問なんでもいいから公式LINEかロジックグループに送ってほしいお。

送らない人は次回からのキャンペーン参加できない処置をとろうと思う。

それを踏まえてここからしっかり読んでほしいお。

2. 応用編

ここからがみんな待ち望んだ実践編だお！ここでは私の使うラインを応用したトレード方法とエントリーポイント、ロジカルに打てるポイントを解説していくお！

ちなみにこの実践編の内容はネットで検索しても出てこない内容なので、これ知るだけでも相当価値があるお。

前述した一般的なラインの引き方だけでは見つけられないポイントも見つかるようになるし、なにより相場を多角的に見ることができるからこれだけはマジで覚えておいた方がいいお。わからんことはロジックグループか公式 LINE に必ず聞いてほしいお。それでは解説していくお！

1. 水平ライン

一般的な水平ラインは相場の安値、もしくは高値に引くものというのは説明したお。

ただ、相場は高値と安値のみを意識しておるわけではないお。

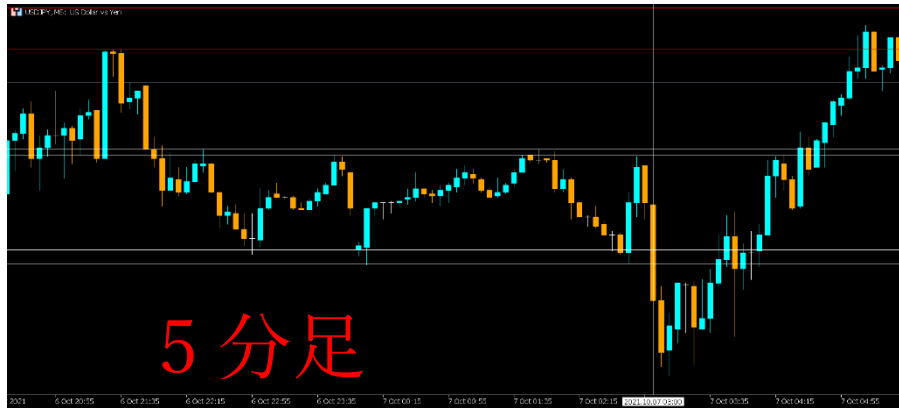
例えば数値、FX をしているほとんどの投資家はこの数値まで来たら決済しようとかこの値にロス引こうとか必ず考えてトレードしているお。キリのいい数字（00 や 15）に引いていることが多いお。だからキリ番の数字はトレードするうえで意識すべき。

あとは前日高値や前日安値、これも意識しておくべき。前日高値安値を見て今日はこのトレードをしようとするトレーダーが多いのでこれも必ず把握しておくべき。

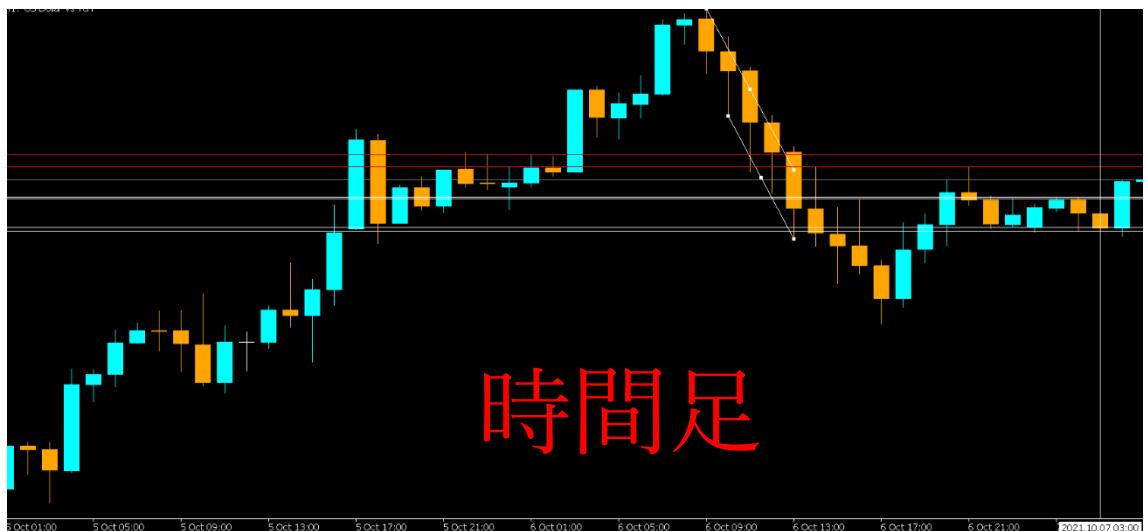
他にも見るべき数値は多くあるが、私のロジックで見るべきポイントは

- ・ 上位足の反発ポイント
- ・ 直近で一番大きいローソク足のポイント
- ・ ヒゲと実体

この三点だお、実際の私のチャートの写真を見てほしいお。



拡大した 5 分足



少し普通のラインの引き方とは違うのが分かると思うお、線が多いからね。
この理由を解説していくお。

まず白い横線は 5 分足での反発ポイント、赤い横線は 1 時間足での反発ポイントだお。
これが一つ目のポイント、**上位足の反発ポイントを確認する。**

ターボとか 5 分のトレードする人にありがちなポイントで上位足を確認しないのがある
お。言うておくが**上位足確認しない時点でトレーダー失格**だお。

世界中のトレーダーが 1 分足とか 5 分足だけでトレードするわけがない、**時間足、4 時間
足、日足、月足**まで確認したうえでトレードしているお。

だからみんなも上位足の確認は鉄則、5 分トレードなら時間足、4 時間足の確認。

1 分トレードなら 5 分足、15 分足、時間足は必ず確認、これやるだけで勝率変わるお。

そして余裕があるなら下位足の反発ポイントも見ろべき。

そして確認ができたなら水平ラインを引く。

この水平ラインが二つ目のポイント、**実体とヒゲにラインを引く。**

ラインはヒゲで引けとか言われたことない？正解だが違うお。

本当はヒゲと実体の両方に引くこと。これでさらなる理解ができるお。



赤丸を見てほしいお、全て 2 本のうちのどちらかで反発しているお。

このように相場はヒゲだけではなく実体も意識しながら進んでいるお。

さらにもう一本線を増やしてみるお。



ね、三本のどこかで反発しているでしょ？

その上でエントリーすべきポイントは白い縦線。

ここは勝率高い、理由は長い間意識されているポイントを大きく抜けたからだお。

こんな何か所も反発しながら進んでいるときに突然抜けるのよ、てことは強いパワーを持っているお。そのポイントで順張りしていけば損益分岐点は超えると思うお。実際我これでマイナス出したことないお。

反発で狙いたいなら赤い矢印の陽線。一番下のラインに触れてそこから下から三番目のラインを抜けているお。これは一番下のラインがかなり意識されていることの現れで、下から3番目を超えたということはそれだけ上昇のパワーが強いという事だお。だから下から3番目のラインを超えたタイミングでハイ。



これは写真の数時間後の相場だお、赤丸のポイントが意識されている反発ポイントだお。
意識されているポイントは時間が経っても意識され続けるお、ただし、写真の矢印にある意識されたポイントを抜けていることからここでのエントリーは見送るべき。あえて打つなら二個目の赤丸の陰線が上から三つ目のラインを抜けたポイント。ここなら下に抜ける可能性高いからエントリーしてもいいお。

そして3つ目のポイント、直近で一番大きいローソク足。

これはエントリーポイントというよりはラインがどれだけ意識されているかわかるポイントだお。直近の相場で一番大きなローソク足のポイントにラインが被っていたら熱いお。



写真だとこの矢印のポイントがほぼ同じ大きさのローソク足だお。そして二つを見てもらうとどちらも意識されているラインに接しているお。

一つ目の矢印はちょうど始値がレジスタンスラインにあたり、そこをサポートラインとしてがつつり反発しているお。

そしてもう一つの矢印はサポートラインを抜けてそのまま下降しているお。

二つともラインを起点に大きく動いていることがわかるお、つまりこのラインを多くの人が意識してトレードしていることが分かるという事だお！！

大きいローソク足がラインに触れていることでラインが意識されているかどうか簡単にわかるのでこれはエントリーする前に確認しよう！

これが我なりの水平ラインを使ったエントリーポイントの探し方だお！！

文字ばかりで分かりづらいと思うお、だからこそ読んだら自分で必ずチャートにラインを引いてその画像を公式 LINE かロジックグループに送ってほしいお！

やらなかったら次からの参加なしにする事も考えているから必ずだお。

裁量でやりたいならまず行動しろ、ロジックもらっただけで勝てるほど甘くないお。

では次にトレンドラインを使ったエントリーポイントの探し方を教えるお！

※相場の反発ポイントがわからない人のために
反発やブレイクがどこで起きているかわからない人に解説だお。



まずこのチャート、どこに線を引けばいいかわかるお？
もちろん色々あると思うが、まずやるべきステップ1は
「直近の最高値・最安値・一番高い陽線の終値・一番低い陰線の終値」にラインを引くこ
とだお！！
この画像だとそれぞれの場所は赤丸のポイントになるお！！

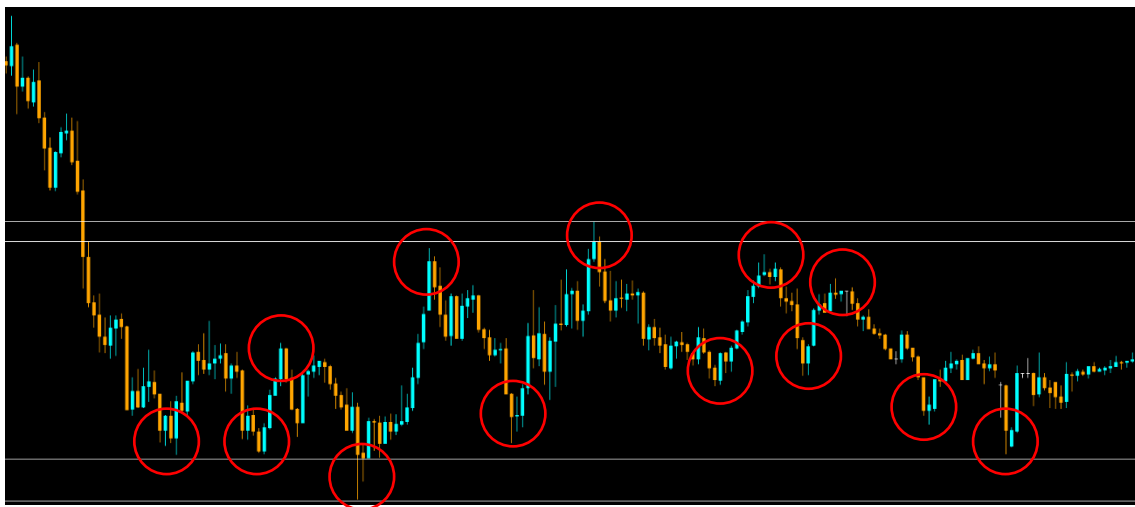


ここに合わせてラインを引くとこんな感じ。



これだけだと実はあまり反発していないんだお。

そこでステップ2、「山の終値、山の頂上にラインを引く」だお！！



山というのは赤丸のポイント、山のように尖っているからそう呼んでいるお。

このような山たちの終値と頂上にラインを引いてみよう。



はいこれ、もはやバーコードだお。笑

これだと流石に多すぎて何がなんだかわからないお。

ここからステップ3、「意識されていないラインを消そう」だお！

例えば画像の黄色のライン、こっって赤丸の場所以外全く反応していないんだお。

こういったポイントを消していくことで意識されるラインだけを残していくんだお！

3ポイント以上反発が見られないラインは消してもいいお！！

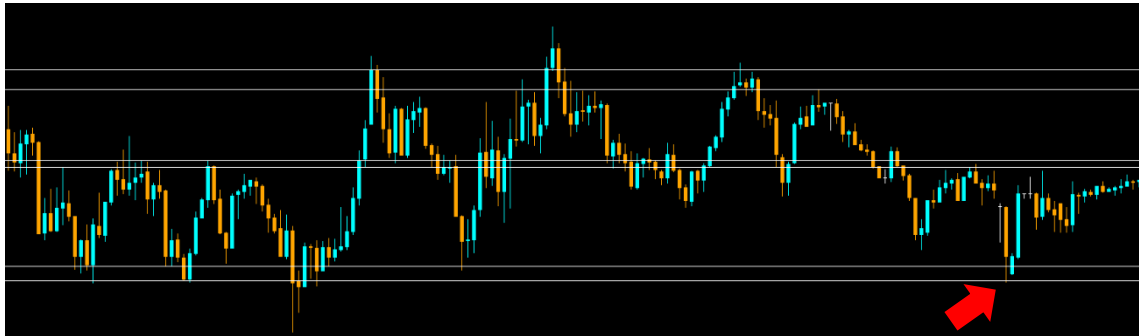
こうやって消していくことで下の画像のようにすっきりするお。



はいこれでめちゃくちゃすっきりしたお！！真ん中の2本のラインは残しておいてもいいがこのラインでのエントリーはあまりおすすめしていないお！！

ここまで引けたらもうエントリーポイントはわかると思うから探してみてほしいお。

見つけたら下の画像で答え合わせしてほしいお！



ロジックに当てはまっているのはここだけだお！！

ここ以外を選んだ人はもう一度応用編を見直してほしいお。

ここまでできたらラインが引けるようになったと思うお！

後は慣れていけばここまでライン引けなくても意識されているポイントにラインが引けるようになるからまずはこれで練習してほしいお！！

2. トレンドライン

トレンドラインも応用した引き方があるお！！

先程の我の水平ラインロジックと併用することでさらに勝率上がるからまずは1を理解してからこの章を読んでほしいお。

トレンドラインのロジックで意識するポイントは

- ・ヒゲと実体
- ・上位足のトレンド

実際のチャートで説明していくお。



この画像も1で説明したトレンドラインより本数が多いのが分かると思うお。

まずこのラインを引く1つ目のポイント、**ヒゲと実体**。

赤丸をよく見るとわかると思うけど、トレンドラインをヒゲと実体にそれぞれ合わせて引いているお。

そして、ヒゲに引いたラインまでは来ていなくても、実体に引いたラインで反発しているのがわかるお。

トレンドラインもヒゲにラインを引けと言われているが、シュワッガーのテクニカル分析の著者であるシュワッガー氏は実体と実体で結ぶトレンドラインを内部トレンドラインと呼び、行き過ぎたヒゲは正しいトレンドを示していないとの理由から実体で引くべきとしている。だがその上でヒゲとヒゲで結ぶトレンドラインを否定してはいないお。

海外ではバーチャートが主流だからヒゲのみを意識しているトレーダーも多くいるお。

つまり、ヒゲで結ぶラインも実体で結ぶラインもどちらも正常に使えるものなんだお。
それをバカの一つ覚えみたいに「ヒゲとヒゲで結べ」とかいう情弱相手に高い情報商材を
売って金をとるトレーダーがいるからみんな一本しか引かないんだお。
これ聞いたら二本引くべきだなんて思うでしょ？そういう人は今からライン引き直してみ
なさい、勝てるお。

そして二つ目のポイント、**上位足のトレンド**。



これは同じ時間の時間足のチャートだお、時間足で見ても上昇のトレンドが生まれている
ことがわかるお。

トレンドラインも水平ラインと同様に上位足でも引いた方がいいお、5分足だとトレンド
だけど時間足ではレンジなんてことも少なくないお。**相場が長い時間でもトレンドかどう**
か判断するうえで上位足にトレンドラインを引くことは重要なことだお。
これを抑えながら実際にエントリーするとしたら次のポイントだお！



例えばこの画像の赤丸のポイント、我が実際にエントリーしたポイントだお！
このトレンドラインもかなり意識されているポイント（反発を見ればわかる）で、ここを
割り込んだ時点で熱い。超えた時点でローエントリーありだが、堅実な人は赤丸の長い陰
線が確定する直前に次の5分でエントリーするのもアリ。
ただ、超えた時点でエントリーするとダマシの可能性もある。超えて確定するまで待つと
次の5分足は逆行する可能性もあるのでそこは個人で見極めてほしいお。
ちなみに配信では**ローソク足が確定して、ラインまで足が戻ってきてから**エントリーして
いるお！！

反発狙うなら矢印のポイントでエントリーするのもありだお。
ここでエントリーするなら一本目の陽線が確定して、2本目の陽線のヒゲがトレンドライ
ンにタッチした瞬間にハイ。
ヒゲにライン引いただけならここはエントリーできないけど、実体にもラインを引くだけ
で十分エントリーできるポイントになるお。

ここまでが我が使うライントレードの応用編だお！
覚えておくポイントは

- ・ 上位足の反発ポイント
- ・ ローソク足
- ・ ヒゲと実体

この3つだお！！これさえ理解できれば大丈夫だお！！

応用編でわからない事がある人は必ずどこかに質問してね！！我説明うまくないからわからないところあると思うし…。

ここまでが応用編だお！！

ん？チャンネルは説明しないのかって？？説明しないお！！

このロジックではチャンネルを使わないお、トレンドラインの代わりに使ってもいいが引き方は同じだお！！

線が増えすぎてどこが本当に意識されているかわからなくなる可能性があるから我はトレンドラインを使うことをおすすめしているお！

では、応用編のポイントを踏まえて私のロジックを説明していくお！！

※応用編が理解できていないとこの先読んでも理解できないから必ず理解してから次に進むように！！

3. ロジック

ここから我が実際に使うロジック（手法？）の説明をしていくお！！

完全にロジックとして確立しているわけではないからこれを使いながらなぜこの結果になったのかをノートに書いていけばさらに勝率あがるお！！

インジケーターも何も入れないからこれ入れるとどうですか？とか質問あれば気兼ねなく連絡してほしいお！

それでは順を追って説明していくお！

1. 必要なもの

2. ロジック解説

3. まとめ

1. 必要なもの

まず必要なものの再確認だお！！

- ・ MT4 などのチャート
- ・ 最低限の知識（ローソク足、トレンド、レンジ、ダウ理論）
- ・ ノート
- ・ バイナリーができる口座
- ・ 資金管理ができるメンタル
- ・ 投資に関しての正しい知識と考え方

赤字が一番重要だお、これさえちゃんとしていれば負けないお。

よく我にロジックとか聞いてくる人いるけどはっきり言ってナンセンス。

資金管理とメンタルがなってない奴はどんな強いロジックと知識があっても勝てない。

ロジックを我に聞くのは資金管理とメンタル管理ができるようになってからだよ。

配信でも裁量でも一回の勝ち負けに一喜一憂するやつはだめ。結局長い期間で増やす奴が一番強い。1日で100万円稼ごうとするな、1ヶ月で10万円出金しろ。

一日100万稼いでもそれを出金しないと利益は0、財布に入ってからが利益だお。

そして、投資は長い期間でプラスにもっていくものだお。

今日10万勝っても1年後にマイナスなら意味ないお。それを理解してから読め。

もしロジックグループに入ってこれを理解していない発言したら**即刻退会**にする、

ここだけは配信グループよりずっと厳しくいきます。

資金管理、マインドセットについてもnoteで書いているから必ず読んで。

読んだ人からこの先に進んでください。

あとの必要なものはないとトレードできないからちゃんと用意しておいてほしいお。

ノートはなるべくあった方がいいお！！

我は持ったポジションを全てノートに書いているお、

何でエントリーしたか、いい点、悪い点、結果、改善点、期待値を書くことで絶対次に生きてくるから強くなりたいなら書くべきだお。ポジションの反省していないプロトレーダーは我の知る限り一人もいないお。

ノートに書いて反省しない人ほどロジックが弱いとか相場のせいだとか言い始めるお。

みんなはそんな恥ずかしい大人にならないように必ずノートに書こう！！

2. ロジック

ロジックは簡単に説明すると

トレンドラインと水平ラインの複合技だお！！

応用で説明した二つのラインを軸にエントリーポイントを選ぶお。

こいつはインジケーターが必要ない、トレンドの理解をするために**移動平均線**、**ボリンジャーバンド**、**MACD** などを入れるのはいいと思うが慣れたら消した方がいいお。

パターンによってエントリーするポイントが変わるからポイント解説を読んで色々なパターンを体で覚えてほしいお。

例1)



これはトレンドではないが水平ラインのみでのエントリー。我のエントリーポイントは赤丸の二つ。



これは時間足。赤い水平ラインが反発ポイント。赤丸の反発とブレイクを見て引いているお。

まずラインをここに引いている理由。



過去に戻るとこの二本の水平ラインで反発・ブレイクが多く起きているのがわかるお。
この時点でこの価格帯の意識がめちゃくちゃ強いのは一目瞭然、ここに二本のラインを引いたお。



この引いたラインがここまでかなり効いているお、下のラインは赤矢印の三点を見て引いているお。反発と大きなローソク足のブレイクから意識されていると判断したお。

まずこの考え方を真似してラインを引けるようになってほしいお。

エントリーするのはこのラインを引いてから

- ・ **大きいローソク足で二つのラインを抜けたタイミングの順張り**
- ・ **外側のラインに触れてから内側のラインまで戻ったときの順張り（反発）**

この二つのポイントだお！！

ちなみに二本目のエントリーポイントは配信しようとしたポイントなんだお！

がっつり超えたから次の反発で配信して勝ったんだお！



白い縦線が私のエントリーポイントだ。

一本目のポイントは上の水平ラインの上まで上がってから下の水平ラインまで落ちて確定している。

ここでの考え方は「高値に挑戦したが赤丸でポジションを持った人が利確した」だ。

この形のエントリーポイントは高値（安値）の挑戦の失敗による反発を狙っている。

外側のラインまで出たローソク足が内側のラインまで戻るときは反発の勢いが強いんだ。この二本のラインを引くことでそれをより分かりやすくしている、もし二本引かなかったら赤の矢印のポイントでもエントリーになってしまう。

こういったポイントのダマシに引っかからないように二本引いているんだ。

この時のエントリーのタイミングは足が確定したタイミングに5分だ、1時間でエントリーするなら確定してから1時間後の判定のエントリーだ！！

二本目のポイントは大きな陰線で下2本の水平ラインをぶち抜いて確定しているお。これもロジックのポイントだお！！

まずはロジックの条件である長いローソク足で2つのラインをブレイクに当てはまっているお。



ロジック以外で捕捉するなら、エントリーポイントの少し前の相場がダブルトップを作っ
て真ん中の抵抗帯（緑の長方形）をブレイクしているのも下降の勢いが強い要因だお！！
エントリーするタイミングは黄色の価格に来るまで、ここを超えたらエントリーしない方が
いいお。これ以降にエントリーすると次の5分足が戻ってきたときに負ける可能性がある
お。

我の中では抜けてから1～15pips以内に打つことに決めているお。

堅実に打ちたい人はローソク足が確定してから打つことをおすすめするお！

※ローソク足が確定してから打つ場合の注意点

ローソク足が確定した時に外側のラインを抜けてから5～15Pips以内に打つお！



これにこだわらないと勝率下がるお、配信でたとえこのロジックに当てはまっても
15Pips以上離れたらスルーするお！

例 2)

次はトレンドラインとの複合ポイントでのエントリー解説だお！



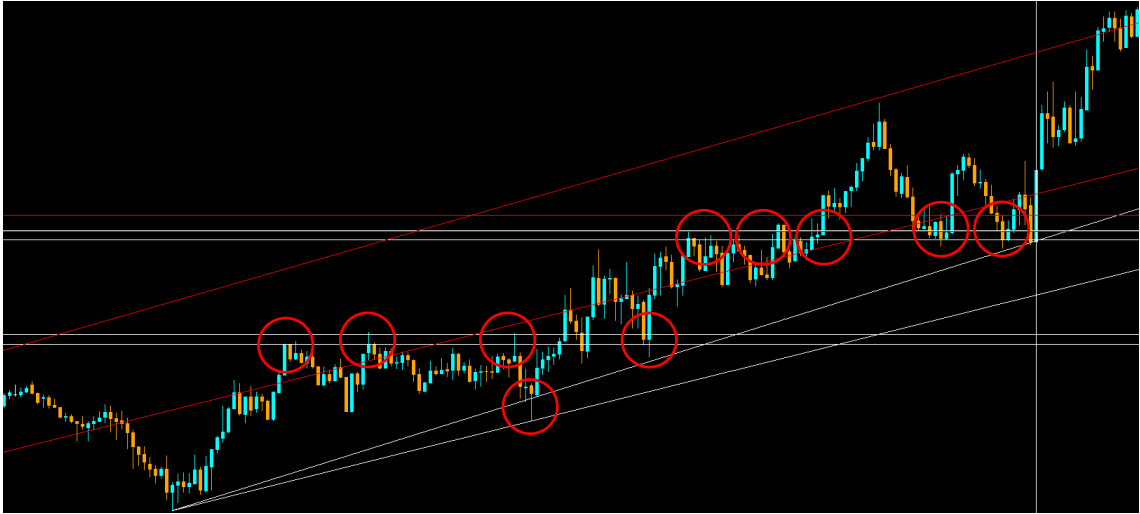
トレンドでのエントリーポイント、我のエントリーは赤丸の一つだお。



これは時間足、赤い線が時間足でのラインだお。赤丸がここにラインを引く根拠となった反発、ブレイクポイントだお。

時間足のラインも引くとチャート上にラインが増えてわかりづらくなるから我のように時間足のラインは赤、5分足のラインは白で色分けした方がいいお！！

5分足のラインはこのポイントを根拠にして引いているお。



エントリーポイントは白い縦線だお、トレンドラインでのエントリーポイントは
トレンドラインで反発し、かつ水平ラインを一本で抜けたポイント
トレンドラインをブレイクして、水平ラインを一本で抜けたポイントの2つだお！！



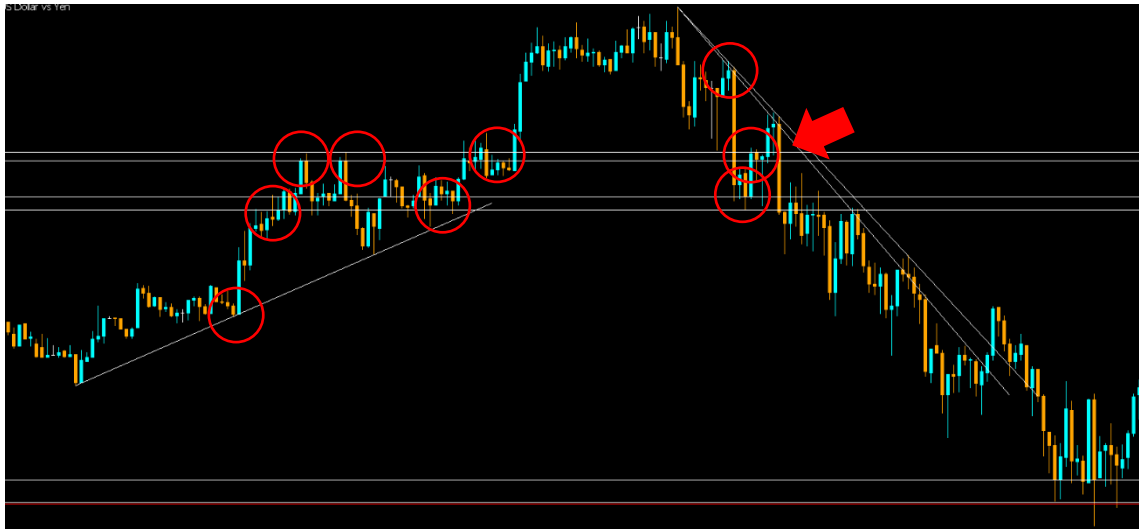
矢印のポイント見てほしいお。まさにロジックの条件ぴったしなんだお！

5分足のトレンドラインにちょうど触れて反発、さらに直前まで意識されていた水平ラインを2つとも超えて上昇しているお。こういったポイントを狙っていくロジックだお。

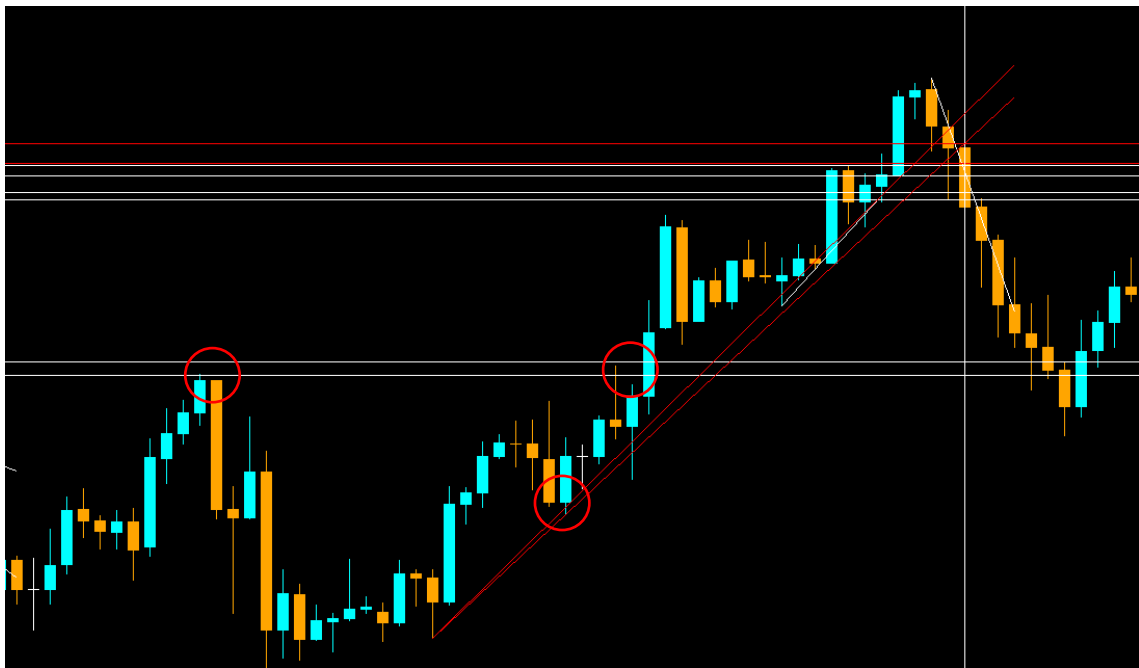
この2つの条件のどちらか一つでも欠けるとダマシによる負けが増えるから必ず守って打つように。

レンジ相場では水平ラインを、トレンド相場では水平ライン+トレンドラインのロジックを使っていくことで勝率が安定するから使い分けて実践しよう！

例3) トレンドと水平の複合技



上は5分足の相場だお。



これは時間足だお。

エントリーしたのは赤い矢印の大陰線だお。

各ラインは赤丸のポイントを見て判断しているお！

これはロジックの2つ目の条件にある「**トレンドラインに触れた後、直近のライン2本をブレイク**」のポイントだお！

エントリーするタイミングは大陰線が内側のラインを超えてから順張りだお！！

3. まとめ

※難しい人の為に

私のロジックを読んでみて「難しいな」と感じているそこのお主、そりゃそうだお。

なるべく簡単に伝わりやすいように書いているが、初心者からしたら難しいと思う。

だからこそ**努力**してほしいお。

このロジック見ている人の中には「ロジックさえもらえば勝てる」と思っている人もいるだろうが、**甘すぎる。**

何も知らないのにこのロジックを使いこなせるわけがないんだお、だからわからないことがあったら調べてほしい。その上で本当にわからない事があるなら我に聞いてほしいお。

(例) こんな質問は絶対にするな。

「ローソク足ってなんですか?」「このロジックは勝てますか?」「どんな相場がトレンドなのかわかりません。」

この質問するやつバカすぎるお、全部調べたら解決するお。

ローソク足もトレンドの見分け方もネットで調べたらすぐ出てくるし、ロジックの勝率は過去チャートに照らし合わせればいいだけなんだお。というかロジックが勝てるのではなく使う人の問題だお、我とお主で同じロジック使っても絶対我の方が勝率高いお。

それをなんでもかんでも質問する人が本当に勝てると思っているのかお?

神官には調べてわかるような事を聞いてくる人には返事をするなど伝えているお。

ロジックに関する質問も頭ごなしに聞いてくるなら我は解説しないお。

「このポイントがロジックに当てはまっていたのでエントリーしたが負けました。自分の中では(いろいろな要因の説明)から勝てると判断したのですが、ここの部分はよくないとも考えました。上下予測神はこのポイントならどうしますか?」くらいの質問してほしいお。

「ロジック使ったのですが負けました、なぜでしょうか。」なんて質問されたら「勉強しろ」としか返さないお。

難しいと感じるなら必ず難しいと感じる原因があるお、それを理解して調べる、それでもわからないなら聞く、聞いたことを理解して実践する、これの繰り返しでしか人は成長しないお。

だからみんなとにかく勉強してほしいお、結局これに尽きるお。我らも最高の環境は提供していこうと思っているからせめて最高のモチベーションで臨んでほしいお。

ここまでがロジックの解説だお！！

このロジックはポイントが多く出てくるのでその中で更に勝率が高いポイントを見つけて精度を高めていってほしいお。

このロジックを使って相場を正しく理解し、本当に勝てるポイントはどこなのかを見極めてほしいお。

ちなみになんだが、**10月からの配信（10/13まで）は全てこのロジックを使っている**

お！！5勝1敗の成績が何を示しているかは言わなくてもわかると思うお。

4. まとめ

今回の私のロジックノートはどうだったかお？我の中でなるべくわかりやすいように解説はしたつもりだが、文字だけでは伝わりにくい部分もあるかと思うお。

何度も言うがわからない時はまず調べる、調べたものを実践する、それでもわからない時は我に聞く

これは裁量とかの前の次元の話だからね、理解できる大人に参加してもらいたいお。

ロジックに関してだが、我は配信もこれをメインに使っているお！

この手法に私の培った相場勘を合わせて使っているお、このロジックだけではダメなんだお、ある程度勝てるけどね。このロジックをもらうことが目的なら使えばいいと思うお。

このロジックを使って更に自分の裁量を伸ばしたいと思うならロジック以外の勉強も欠かさないでほしいお！

しっかりとした知識があればかなり勝てるものだと思うから頑張ってもらいたいお。

その為の場所としてロジックグループがあるんだお！

ここで切磋琢磨して高めあってほしいお。

今後のみんなのトレードライフが明るくなるように祈っているお。

ここで我からの特典情報！！

今回はロジックノートの配布だけではなく、**我が直接ロジックに対しての質疑応答・実際のエントリーポイントの共有・リアルタイムのロジックトレードの共有をするグループへの招待**もセットになっているお！！

このグループではお主が裁量をしていく為の最強の環境があるお。

自分でエントリーしたらそれをプロのトレーダーに添削してもらい、プロのトレーダーの目線でのポイントの共有、極めつけにリアルタイムでポイントの共有までやるのだから猿でも勝てるようになるお。

これが完全無料で受けられるなんてお主はなんと幸運なのだ、我が同じ立場なら今すぐにも参加したいお。笑

さあそれでは最後にみんなにこのロジックが本当に理解できているか確認してもらうためのクイズを用意したお！！

このクイズに全問正解することで初めて理解ができていると言えるので頑張って全問正解するように！！

- 第一問. ライントレードは裁量を勉強するうえで覚えなくてもいい。○か×か。 ×
- 第二問. ライントレードは世界中の投資家に愛用されている。○か×か。 ○
- 第三問. ラインは人によって引く場所が変わる。○か×か。 ○
- 第四問. 上昇トレンドラインはトレンドの始まりから二つ目の安値に引くものである。
○か×か。 ×
- 第五問. テンドラインをブレイクすると相場の流れが絶対に変わる。○か×か。 ×
- 第六問. テンドラインは引く場所が難しい時には引かなくてもよい。 ○
- 第七問. 水平ラインには2種類ある。○
- 第八問. 水平ラインは相場の勢いを把握するためのものである。 ×
- 第九問. チャネルラインはそれぞれ「上昇トレンドの安値」・「下降トレンドの高値」に引くものである。 ○
- 第十問. チャネルラインが長ければ長いほど反発が弱まる。 ×
- 第十一問. 分からないことは質問した方がいい。 ○
- 第十二問. 水平ラインは高値安値以外にも引くことがある。 ○

ここから選択問題

- 第十三問. 水平ラインは意識すべきポイントが3つあります。次の4つのうち意識しなくてもよいものを選んで下さい。
1. ヒゲと実体
 2. 上位足の反発ポイント
 3. 大きなローソク足
 4. 相場の流れ

答え：全部意識します。

第十四問. 次の4つのうち、水平ラインを引く必要があまりないものはどれ？

1. 直近の高値・安値
2. 前日の最高値・最安値
3. 3回反発している値
4. レンジ相場の高値・安値

答え：前日の最高値・最安値

(前日の最高値・最安値だからといって引く必要ない、反発している値に引く)

第十五問. あなたは5分足でトレードしています。次のうち、相場の確認として見なくてもよいローソク足はどれ。

1. 1分足
2. 4時間足
3. 日足
4. 15分足

答え：確認できるなら全て確認してください。

(優先順位は4時間足、日足、1分足、15分足の順番)

第十六問. 実体と実体に合わせて引くラインを内部トレンドラインと定義した世界的に有名なヘッジファンドの専門家であるジャック・D・シュワッガー氏の著書は次の4つのうちのどれ？

1. シュワッガーのマーケット分析
2. シュワッガーのファンダメンタル分析
2. マーケットの魔術師
4. マーケットの錬金術

答え：マーケットの魔術師

第十七問. 次の4つのうち、適切ではないラインはどれ？

- 1.

